

コミュニティ ふるっ

My home town story

志津

2024.OCT
141号 10

〔編集発行〕
公益財団法人 草津市コミュニティ事業団

〔作成協力〕
志津まちづくり協議会



「らっしゅいーらっしゅいー」子ども店長の元気な声が響きます。売る人も買う人も、みくんな子どもの「しゅっどもマルシェ」開店です。手づくりUFOキャッチャーやポケモンカード、即興の似顔絵描きまで16組の子ども店長たちが知恵を絞った店々に、子どもたちがこの日限定通貨「志津っコイン」を片手にお買い物。今日も商売繁盛！それにしても店長 眞緑ありすぎでは笑)

志津
まちづくり
協議会
地域紋章



「城池と三本楠」下部には青地城址の城池を、上部には志津小学校にある3本のクスノキ(草津市の保護樹木)を配し紋章化したものです。私たちの住む地域が、大きく発展して欲しいという願いが込められています。

FEATURE

出合いが楽し、コーヒーは美味し。ぶらっと茶屋

カフェ

代表 水島みつ江さん
副代表 相澤 洋子さん



あなたはもう、志津まちづくりセンターに行きましたか。3年前に新しくなったセンターは様々な使い方ができる会議室があるほか、調理室や作業室なども人気。平屋建てとあって、重厚な外観とは対照的に中は広ひろ。明るく清潔感いっぱい空間が、なんとも心地良い。

この志津の新しい拠点スポットを象徴するのがロビー。FMが流れ全面ガラス張りの開放的なこのスペースは、今日も多くの人で賑わっています。そして香ばしいコーヒーの薫り。

そう、今日はみんなの楽しみ「ぶらっと茶屋」の日です。

悔ることなかれ

カフェと言ってもプロの店ではありません。運営するのは25名のボランティア。全員が志津に暮らす地元の皆さんです。なるほど、美味しいコーヒーを1000円で提供できる裏には、こうしたボランティアさんの存在があるわけですね。

ボランティアだからって、1000円だからって、悔ることなかれ。本当に美味しい本格コーヒーです。

ア運営にはなかなかの頻度です。これを25名がシフト係、企画係、購買係に分かれて支えます。

場をつくる

「カフェを始める時に、コーヒーの会社に来てもらって、淹れ方の講習を皆で受けたんです。私たちは素人ですが、どうせなら少しでも美味しいものを飲んでもらいたいですもんね」と相澤さん。

「コーヒーの味や値段にこだわられるのも、頻繁に開店するのも、すべて目的は一つ。それは、いつでもここにきて、気軽に楽しんでほしい。地元の人と出合って、つながってほしいから。」

素敵な出合いとつながりを生み出すための知恵や工夫は惜しみません。それが企画係による様々な催し。

それにしても1杯1000円で、すよ、1000円。目の前で淹れてくれるこの

コーヒーが、コンビニよりもお得に楽しめるのは驚きです。

コーヒーと会話を楽しむ

ぶらっと茶屋は毎週、火木土の10時から15時半まで。ボランティア

「ちよっとした工夫や手間が変わることに驚きました。豆によつては淹れてから30分経つと、一気に味が落ちることも知りました。だから作り置きはせずに、注文をいただいてから淹れるドリップコーヒーにこだわっています(笑)」

その想いは名前にも込められています。「ぶらっと」には気軽に来て欲しいつて意味と、人と人、人とまちをつなぐ場の「プラットフォーム」から名づけました」とセンター職員さん。

他にも、七夕・ハロウィン・クリスマスやひな祭りの風情を楽しんでもらう季節イベントや、スタッフが講師となる「スマホの使い方講座」「囲碁教室」など、ぶらっとに来

相澤さんが続けます。「ワシはあんたらと話がしたくてココに来るんや」と嬉しいことを言ってくれる人もいます(笑)。独り暮らしの高齢者にも民生委員さんが声をかけてくれたりして、ね」

こんな場づくりも、ボランティアさんならではの温かさ、ですね。



水島みつ江さん



自分から隣近所の人に声をかけて、毎年バーベキュー大会なんかもやりました(笑)。そうこうしているうちに二人二人と友だちが増えてきてね、公民館での講座なんか誘ってもらえるようになりました。



「志津に来て30年ぐらい。そのころの志津はまだ、田舎ならではの地元の連帯感が強かったですね。それで、ここに住み続けるには人とのつながりをしっかりとたなくては、と強く感じたものです。ならば、と

自分から動く

公民館に顔を出すようになる地元での知り合いが一気に増えたんです」

水島さんは続けます。

「時代こそ変わったけど、今も志津はヒックリするぐらい人が増えてるでしょ。中には孤独を感じてる若い人たちもいるんじゃないかなあ。」

そんな人たちにも、このぶらっと茶屋が気軽にこられる場所、地元でのつながりをつくれる場所になつたらいいな、って思ってたります。

開催日にはセンター前に、のほりを立てて待ってるんで、用事なんてなくても、コーヒーをのみに来てください、ってね(笑)」

相澤洋子さん



志津まちづくりセンターはここ「志津」のまちづくり拠点、ぜひ皆さんに来て欲しい。「でも用事もないのに行きにくいな」ってあなたも大丈夫。まずは「ぷらっと」お越しください。美味しいコーヒーと素敵な人たちがあなたをお待ちしています。

※公民館…現まちづくりセンターの前身

志津

草津市の南東部に位置する志津学区は面積750ha、市全体の約15.6%にあたる広さをもつ。東部には緩やかな丘陵地が広がり、山寺や岡本・馬場など大規模な工業団地を有する。

豊かな自然環境と田園風景、由緒ある神社仏閣なども多く、自然と歴史・文化の色濃い地域でもある。

近年は交通アクセスが良くなり住宅開発が進み、子育て世代を中心に市内でも有数の人口増加がみられる一方で、高齢化も進み独居や空き家なども目立ちつつある。

志津まちづくり協議会ではプロジェクト制による事業展開を導入し、若い世代のまちづくり参加も活発。拠点である志津まちづくりセンターは2021年に建て替えられた。

- 総人口 : 14,252人 (140,177人)
- 0-14歳 : 2,495人 (20,167人)
- 15-64歳 : 9,275人 (88,539人)
- 65歳以上 : 2,482人 (31,471人)
- 世帯数 : 6,261戸 (64,544戸)
- 65歳以上の割合 : 17.4% (22.5%)

※外国人を含めた集計/カッコは草津市全体 草津市HPより(令和6年6月30日時点)

志津まちづくり協議会のHPと公式LINEはこちら

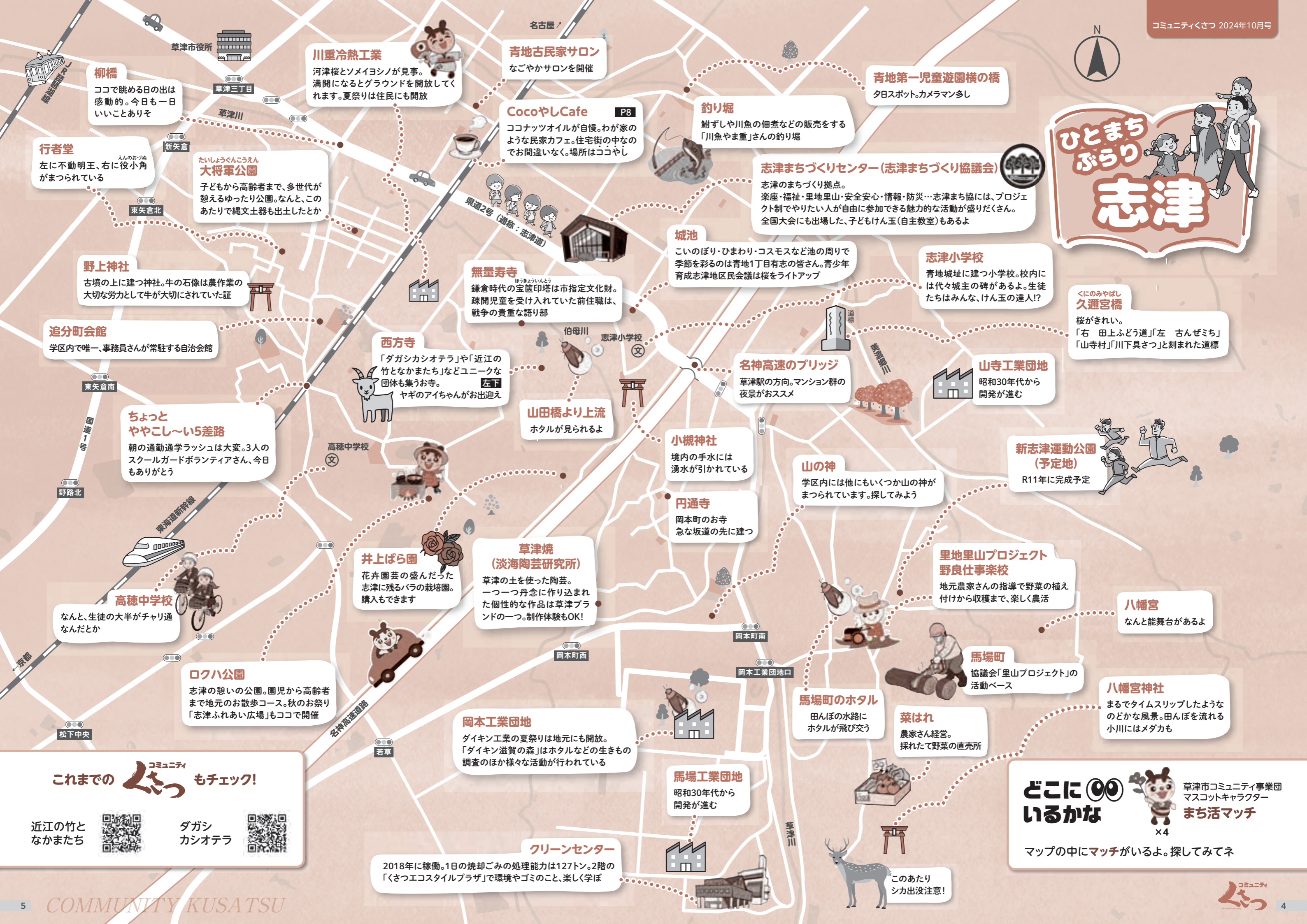
志津まちづくり協議会
ホームページ



公式LINE



※「志津まちづくり計画書」「志津学区まちづくりプラン」などより一部抜粋



川重冷熱工業
河津桜とソメイヨシノが見事。満開になるとグラウンドを開放してくれます。夏祭りは住民にも開放

青地古民家サロン
なごやかサロンを開催

CocoやしCafe P8
ココナッツオイルが自慢。わが家のような民家カフェ。住宅街の中なので間違いなく。場所はココやし

釣り堀
鮎ずしや川魚の佃煮などの販売をする「川魚やま重」さんの釣り堀

青地第一児童遊園横の橋
夕日スポット。カメラマン多し

志津まちづくりセンター(志津まちづくり協議会)
志津のまちづくり拠点。楽座・福祉・里地里山・安全安心・情報・防災…志津まち協には、プロジェクト制でやりたい人が自由に参加できる魅力的な活動が盛りだくさん。全国大会にも出場した、子どもけん玉(自主教室)もあるよ

城池
こいのぼり・ひまわり・コスモスなど池の周りで季節を彩るのは青地1丁目有志の皆さん。青少年育成志津地区民会議は桜をライトアップ

志津小学校
青地城址に建つ小学校。校内には代々城主の碑があるよ。生徒たちはみんな、けん玉の達人!?

くにのみやばし久通宮橋
桜がきれい。「右 田上ふどう道」「左 古んぜみち」「山寺村」「川下具さつ」と刻まれた道標

無量寿寺
鎌倉時代の宝篋印塔は市指定文化財。疎開児童を受け入れていた前任職は、戦争の貴重な語り部

西方寺
「ダガシカシオテラ」や「近江の竹となかまたち」などユニークな団体も集うお寺。ヤギのアイちゃんがお出迎え

名神高速のブリッジ
草津駅の方角。マンション群の夜景がおススメ

山寺工業団地
昭和30年代から開発が進む

行者堂
左に不動明王、右に役小角がまつられている

たいしょうぐんこうえん 大將軍公園
子どもから高齢者まで、多世代が憩えるゆったり公園。なんと、このあたりで縄文土器も出土したとか

野上神社
古墳の上に建つ神社。牛の石像は農作業の大切な労力として牛が大切にされていた証

追分町会館
学区内で唯一、事務員さんが常駐する自治会館

山田橋より上流
ホテルが見られるよ

小槻神社
境内の手水には湧水が引かれている

新志津運動公園(予定地)
R11年に完成予定

ちょっとややこしい5差路
朝の通勤通学ラッシュは大変。3人のスクールガードボランティアさん、今日もありがとう

高穂中学校
なんと、生徒の大半がチャリ通なんだとか

井上ばら園
花卉園芸の盛んだった志津に残るバラの栽培園。購入もできます

草津焼(淡海陶芸研究所)
草津の土を使った陶芸。一つ一つ丹念に作り込まれた個性的な作品は草津ブランドの一つ。制作体験もOK!

円通寺
岡本町のお寺 急な坂道の先に建つ

山の神
学区内には他にもいくつか山の神がまつられています。探してみよう

里地里山プロジェクト 野良仕事楽校
地元農家さんの指導で野菜の植え付けから収穫まで、楽しく農活

八幡宮
なんと能舞台があるよ

ロクハ公園
志津の憩いの公園。園児から高齢者まで地元のお散歩コース。秋のお祭り「志津ふれあい広場」もココで開催

岡本工業団地
ダイキン工業の夏祭りは地元にも開放。「ダイキン滋賀の森」はホテルなどの生きもの調査のほか様々な活動が行われている

馬場工業団地
昭和30年代から開発が進む

馬場町のホテル
田んぼの水路にホテルが飛び交う

馬場町
協議会「里山プロジェクト」の活動ベース

八幡宮神社
まるでタイムスリップしたようなのどかな風景。田んぼを流れる小川にはメダカも

菜はれ
農家さん経営。採れたて野菜の直売所

これまでの **くさつ** もチェック!

近江の竹となかまたち



ダガシカシオテラ



どこに **くさつ** いるかな



草津市コミュニティ事業団 マスコットキャラクター **まち活マッチ** x4

マップの中にマッチがいるよ。探してみてネ

クリーンセンター
2018年に稼働。1日の焼却ごみの処理能力は127トン。2階の「くさつエコスタイルプラザ」で環境やゴミのこと、楽しく学ぼう

このあたりシカ出没注意!

防災キャンプ 避難所に泊まってみる。

志津防災プロジェクト

代表 林 文男さん(61歳・防災士)

副代表 松永直之さん(50歳・防災士)



梅雨明けとともに容赦のない日差しが照りつけた今年の夏、7月最後の土曜日。この日もうだるような暑さ。ここは志津小の体育館。夕方から次々と家族連れが集まります。スポーツバックにリュック、スーツケースを引いてくる人まで、みんな大きな荷物をかかえ、汗が吹き出しています。今日は志津防災プロジェクトが企画した「避難所宿泊体験」の日。いざ災害が起こった時には(広域)避難所となる、ここ志津小の体育館に「一晩泊まってみよう」というユニークな試みです。

12㎡のわが家

宿泊体験は区画づくりからスタート。市では一人につき2㎡(1㎡×2㎡)を目安としていますが、今日の参加は17家族。一族ごとに12㎡(3㎡×4㎡)の区画をつくりまします。

幅約2mのシートで通路を確保してから、メジャーで測りながらマスキングテープで区画を作っていく作業。区画ができると、それぞれが荷物を持って割り当てられた区画にお引越(移動)です。

今晚限りの12㎡のわが家に入る表情は皆どこか楽しそう。走り回る子どもたちの姿も。すかさず、スタッフさんが「これこれ、そこはもう他所よそのお家(区画)ですよ。移動するときは、通路を歩いてくださいな」

人を見て学ぶ

それにしても暑い。まだ冷房が完備されていない体育館はも

う、蒸し風呂状態です。本当にこんな中で眠ることができるのか？もうすでに不安です。

「この体験会では、各自で必要だと思つたものを持ってきてもらうよう伝えていきます。他の家族が何をもちこんで来ているかを見るだけでも様々な気づきになります。アウトドア用品なども災害時には重宝します。普段使

いしておけば、いざというときにも役に立ちます」と林さん。

なるほど、保冷剤や飲み物が詰まったクーラーボックス、アルミマット・簡易ベッド・バッテリー付扇風機・タオルケットに枕……と、それぞれが少しでも快適に、少しでも普段どおりに過ごせるよう工夫しています。

経験して気づくこと

「グッスリとはいきませんが、ウトウトとは眠れましたよ。騒ぐ子もいなくて思つたより静かな雰囲気でした。夜中にスマホを触つてる人もいたけど、皆さん

横になってましたね。朝はみんな早く起き出して、全員で体操をしてからおにぎりを食べましたよ」と林さん。

宿泊体験中には「今日は親と一緒にだったけど、親がいないときに災害にあつたらどうしてよいかわからない」と子どもたちから質問があつたのだとか。

「もしもの時の家族との連絡方法や落ち合う場所を確認しておく大切さなどにも気づいてくれたようでした」と松永さん。

また、参加したママからもこんな感想が。

「一晩だけだったけど、他の人と同じ空間で寝るのって想像以上に緊張しました。女の子を連れていたので、この子の姿を覆うように寝たりして。プライバシーのない状態がこんなにストレスになるってことを実感しました。発災後しばらくはこんな状態が続くと思うと、たとえ1週間でも辛いですね」



林文男さん

松永直之さん



時間も場所も： 人も選ばない

林さんと松永さんが口を揃えます。

「こういつた小さな気づきの積み重ねですね。避難所での宿泊体験を繰り返して、一人でも多くの人に経験しておいてもらうこと。いざという時に、市の職員さんが居なくても、そこにいる誰かが率先して動けるようになることが大切。経験を通して身につけた知恵や工夫は、非常時の行動につながるんだと思います」

志津防災プロジェクトは現在6名。これまでは学区の防災計画づくりを中心に取り組んでいました。

そして今年からいよいよ住民さんとの実践として、まず始めたのが今回の避難所宿泊体験。次は志津学区防災本部の立ち上げ訓練を企画中なのだとか。

「災害は時間も場所も人も選ばずにやってきます。こんな暑いときに遭うことだって考えられます。自然のことだから避けることはできません。だからこそ備えるだけでなく、被災後のことも訓練を通して模擬体験し

ておかないと。大切なのは遊び心を持って、楽しくやることですね」

救える命もあつたはず

林さんは防災知識や知恵があれば救える命もあつたはず、と2011年の東日本大震災を機に防災士になったのだぞつ。

「復興つて、被災者全員の安否が確認できないと始まらないですね。いち早く復興に取り組みには自分や家族の命を守るための知識や知恵が必要です。そして残念ながら亡くなった人を

少しでも早く見つけ出すこと。そのためつながりづくりや情報の把握が欠かせません。

地元の町内でも防災訓練だけでなく、家族の状況を聞き取るなど住民の情報を常にアップデートしておくことが大切ですね。また、町内会に入っていない人だっています。そこに、まち協で防災に取り組み意義もあります。自助共助（近所さん・町内会・学区）・公助（行政）と何重にも防災ネットを張っていくことがこれから益々必要なんだと思います」



今号の編集中に「南海トラフ地震臨時情報」が発令されました。正月の能登半島地震からわずか半年余り。「天災は忘れたころにやってくる」「備えあれば憂いなし」といった教訓も、今や「災害は忘れずにやってくる」し、備えても備えても不安は膨らむばかり。

でもこんな模擬体験をまちのみんなが少し経験しておくだけで被害を最小限にとどめることができる。人とのつながりが強い志津はきっと災害にも強さを発揮してくれます。志津の底力をこんなところにも見つけました。



もじうめスツキリ

志津にまつわるスツキリ。□に入る5文字を答えてね。



P4-5の
マップに
ヒントがあるよ

- 問**
- (1) けん玉の達人がいっぱい。青地城址に建つ
しづしょう□っこう
 - (2) みんな大好き、志津の憩いスポット。
志津ふれあい広場の会場です。
ロクハ□うえん
 - (3) 草津の土でつくる陶芸
□さつやき
 - (4) 西方寺のアイドルといえば
や□のアイちゃん
 - (5) 志津まちづくりの拠点。魅力的なプロジェクトが盛りだくさん
□づまちづくりセンター

応募方法

ハガキに①答えの5文字②住所・氏名・年齢・電話番号③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでの応募もお待ちしております。

※切 **10月18日(金)** 必着

宛先

〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号
(キラリエ草津)

(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティくさつ10月号」係

✉ com-com@mx.biwa.ne.jp

☎ 565-0411

プレゼント

ご応募いただいた中から抽選で
「CocoやしCafe」で利用できる優待券
(1,000円相当)を5名様にプレゼント
P4~5のMapをみてね!



あなたの チャレンジ 応援宣言!

志津はあなたのチャレンジを応援します。

志津まちづくり協議会では市内初のプロジェクト制によるまちづくり事業をスタートしています。プロジェクトは楽座・福祉・里地里山・安心安全・情報・防災の6つのプロジェクトを軸に、興味や関心がある人をメンバーとして、運営を進めています。この紙面で紹介したほかにもユニークで楽しい活動が次々と展開。あなたもまちづくりプロジェクトに参加してみませんか。



ポイント 志津のここが好き!



「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかっています。

コミュニティくさつ
2024.10.10
編集発行
公益財団法人草津市コミュニティ事業団
〒525-0032 滋賀県草津市大路二丁目1番35号(キラリエ草津)
☎ 077-565-0477 ☎ 077-565-0411
✉ com-com@mx.biwa.ne.jp HP https://kusatsu.or.jp
作成協力
志津まちづくり協議会
〒525-0041 滋賀県草津市青地町561番地(志津まちづくりセンター)
☎ 077-562-0047 ☎ 077-562-0047
shizu@machikyuu.jp
【題字】中村 明雄 【印刷】株式会社スライテック

